

地方自治体、産業界との連携事例について

調査票「6. 地域・産業界との連携 設問②」及び「6. 地域・産業界との連携 設問③」に関連して、地方自治体や産業界との連携について具体的な記述を求めたところ、以下のような事例があった。

【地域貢献の内容・自治体からの支援内容】

鳥取短期大学

- ・毎年、倉吉市教育委員会との共同主催による、地域住民を対象とした公開講座開催を実施している。
- ・「とりたん生と語る会」や「ふれあいトーク」などを通じて学生と市長（倉吉市）が対話する意見交換会を実施している。
- ・鳥取県中部地震で被災した倉吉市学校給食センターの代替施設として、本学給食管理実習棟の無償貸与及び学生による調理ボランティアなどの支援を行った。
- ・平成29年4月より、空き家を利用した学生向けシェアハウス事業を実施している。
地域：地域の担い手として学生を受入し、地域活動への学生生活用
物件所有者：倉吉市より整備費用の補助を受け、シェアハウス仕様に改修
倉吉市：施設改修費補助金の交付及び地域との受入調整
本学：入居希望の学生の斡旋、シェアハウス業務の運営、学生の生活指導等

長崎総合科学大学

長崎市と包括連携協定を締結、従前の新産業のための産業振興協定による活動や、東長崎エコタウン協議会における活動、長崎游学などに加えて、広く理解協力を得て地域貢献活動をしている。

- ・大学連携型起業家育成施設（ながさき出島インキュベータ）の誘致を提案し、平成19年の設置実現後は、定期的な運営委員会や入居企業面談会へ参加、技術協力支援を続け10年間新事業創出に貢献した。（長崎県、長崎市からは賃料半額補助や、開発費の補助金制度設置などの支援を受けている。）
- ・地域課題の解決のために地域科学研究所を中心に、長崎市特有の歴史的な建造物やまちづくりの歴史研究を行い、この成果は、教会群のユネスコへの世界遺産推薦活動の基礎となった。また、長崎市から委託研究も継続的に依頼がある。

帯広大谷短期大学

- ・パソコンの使用方法や外国語、音楽など教養、文化、国際、技能と多岐にわたる生涯学習講座（公開講座）を短期大学が所在する音更町と共同で実施しており、特に受講者を音更町に在住する小学4～6年生に限定した小学生講座は好評で、多くの小学生が工作や調理、茶道などを楽しそうに学んでいる。
- ・音更町経済部が主体となり、地産地消をコンセプトとして音更町の文化を紹介しながら様々な体験や食が楽しめる「みのり～むフェスタおとふけ」に本学社会福祉科介護

福祉専攻の教員と学生が参加し、介護予防体操等を地域住民に紹介している。

- ・本学社会福祉科介護福祉専攻へ進学、修学する学生に対して、音更町から「音更町・帯広大谷短期大学ふるさと介護福祉士育成支援奨学金」の支援を受けている。卒業後、音更町内又は十勝管内の高齢者施設又は障がい者施設等で原則として3年以上勤務することを奨学金の申請資格としており、極度の人材不足に苦しむ介護業界にとって地域の福祉施設への就職に繋がる大きな原動力となっている。

中部学院大学

- ・関キャンパスに、生涯学習施設として一般市民等を対象としたシティカレッジ関の公開講座を開講しているほか、地域公開講座:現代の社会・経済・経営(8回シリーズ)と題し、各界のトップを招いて毎年5月~7月に学生・市民の皆様に公開している。
- ・近隣の市町村へ学生が主体となり教員と共に地域の課題について調査・研究し課題の解決に向け地域の人々や機関と協働し解決策を提案・実施・評価する事業。(実施例:関市地域メンタルサポートへの取組参画)また、関市自治基本条例に基づく「まちづくり市民会議」に学生が参加し、10か月という長期間、市民と共に市への施策提案を行う事業に取組みに参画している。

新潟工科大学

- ・地域貢献の具体的な取組みとして、柏崎市内中心部に人通りと活力を取り戻すことを目的に、新潟産業大学と本学が共同で空き店舗(通称:「まちかど研究室」)の活用計画、運営を行っている。毎年度さまざまなイベントを企画し、地域の活性化に貢献している。(柏崎最高プロジェクト、高校生や小学生を対象にした3Dプリンタなどの体験講座、七夕キャンドルナイト、クリスマスのライトアップ、グリーンバード活動(街の清掃活動等))

函館短期大学

- ・函館市子ども未来部 子ども企画課より事業委託を受けて子育て支援施設「つどいの広場」を運営しており、年間約7,000名の親子が利用している。
- ・函館市との地域連携事業として、函館チャレンジ・サークル「つばさ」の委託を受け実施・学生ボランティアを派遣している。
- ・函館市より、私立学校運営事業として在学学生数と教職員人件費に応じた補助金を受けている。

富士大学

- ・スポーツ・センターと図書館を花巻市民に開放する一方、花巻市の文化・スポーツ施設が本学学生に対し無料開放されている。例年9~10月に「花巻市民セミナー」を6回開催し、市民の生涯学習の支援を図っている。
- ・花巻市からは上記施設の無料開放のほかに「花巻市民セミナー」の会場設営・広報及び講師謝金の支援を得ている。
- ・岩手県岩泉町、西和賀町と包括連携協定を結び、地元高校生の受入れと地元就職支援

を内容とする「地域定住人材育成プログラム」を実施し、平成 29 年度には同プログラムに基づく学生を岩泉高校、西和賀高校から各 1 名受入れている。

【産業界との包括連携協定の内容】

四国大学短期大学部

- ・徳島県経営者協会等の団体や企業との包括連携協定に基づき、インターンシップや出前授業が実施されている。平成 28 年度のインターンシップ受け入れ事業所（53）のうち、殆どの事業所が本学との連携協定の団体の傘下企業である。
- ・また、「社会福祉法人美馬市社会福祉協議会」との連携には、「地域福祉推進活動」、「地域福祉を担う人材育成」や「新たな地域連携のモデル構築」が協力事項となっており、短期大学部幼児教育保育科は、毎年美馬市の子育てボランティア及び一日保育を学生主体で行っている。

青森中央学院大学

- ・青森商工会議所とは、定期的に青森中心市街地で開催している、「まちなかキャンパス公開講座」を共催しているほか、地域産業振興のために共同で調査・研究を行ったり、商工会議所が主催している小学生向け職業体験講座への学生・教職員の派遣、会員企業への「健康経営」の取り組みへの支援、地元就職活動支援、商工会議所の各種事業への会場提供等連携して様々な取り組みをしている。
- ・青森県消費者協会とは、学生を対象とした消費啓発活動のほか、消費者協会主催事業への講師派遣、学生が主体となった高校生向けの消費者教育活動等を連携して実施している。

東日本国際学

- ・温泉リゾート施設「スパリゾートハワイアンズ」を運営する常磐興産株式会社と包括連携協定を締結し、協働カリキュラムの開発・実施、外国人留学生の継続的アルバイトの実施、海外展開における本学・留学生との連携、インバウンド情報の発信を行っている

佐賀女子短期大学

- ・佐賀商工会議所と包括連携協定を締結しており、維新 150 年プロジェクト等を含む県内の情報交換に努めている。また、佐賀商工会議所青年部による「さが YEG 大産業交流展 2017」に短大のブースを出展、学生による学びの発表をするなど、地域の参加事業所と相互に理解を深めた。さらに、商工会議所会員事業所と本学との連携取組に対して調整していただき、地域の発展、文化振興・発展のための取組みとして現在維新 150 年に向け「旅館あけぼの」と佐賀藩の料理の再現に取り組んでいる。
- ・また、各企業とは、その業職種に合わせたインターンシップを春季休暇期間に計画している。株式会社西日本旅行とは試験的に夏季休暇期間に 1 週間のインターンシップを実施した。その他、企業理解のための企業見学・説明会を実施した。